

Hondaの目指すところ

“自由な移動の喜び、と”豊かで持続可能な社会、の実現



◆Hondaテレマティクス「インターナビ」最近の取り組み

- ・主なサービス
- ・つながるクルマの拡大

◆Big Dataを活用した取り組み

- ・安心して走れる交通社会実現に向けた取り組み
- ・大規模災害時の移動支援と、減災に向けた取り組み

◆次に向けて

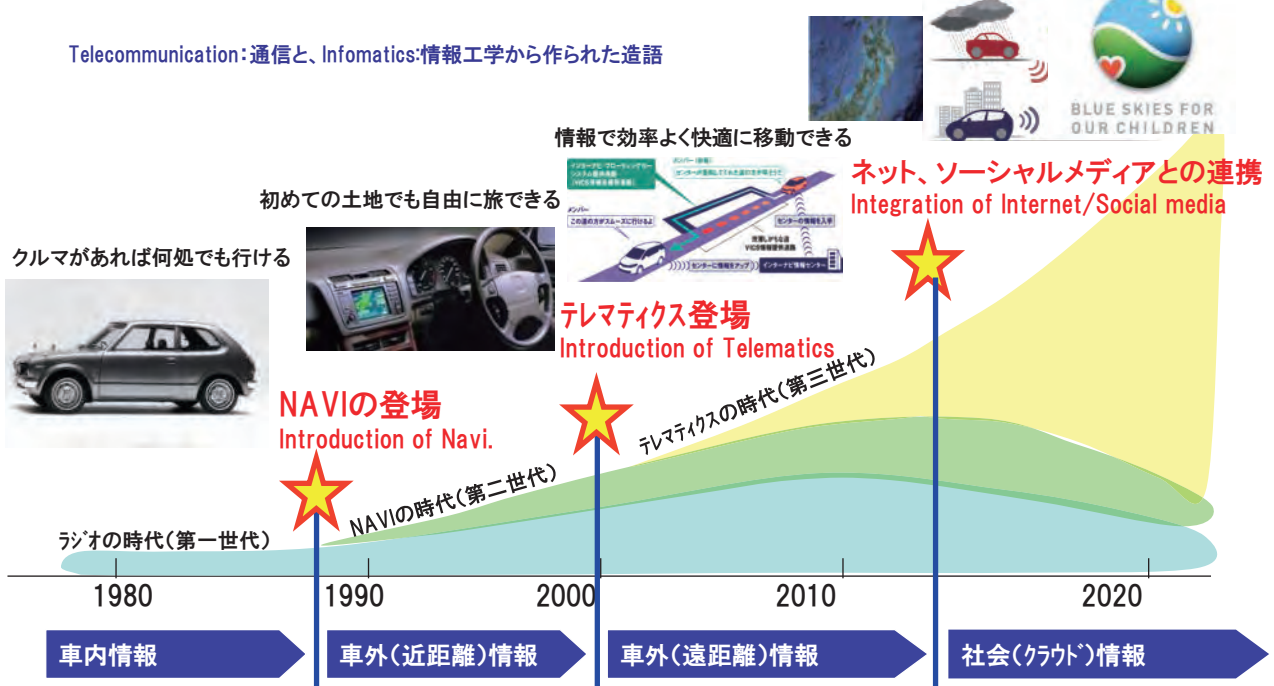
- ・四輪以外への取り組み

テレマティクスがもたらすモビリティ社会の進化

テレマティクスはクルマと人と社会をつなげ、安全でグリーンなモビリティ社会を実現する

クルマと人と社会・暮らしがつながる

Telecommunication: 通信と、Infomatics: 情報工学から作られた造語



Hondaテレマティクス「インターナビ」の進化



インターナビのコンセプトとサービス

ドライバーの快適なカーライフを実現するため、
より安全で環境にも配慮したドライブ情報サービス・ネットワーク



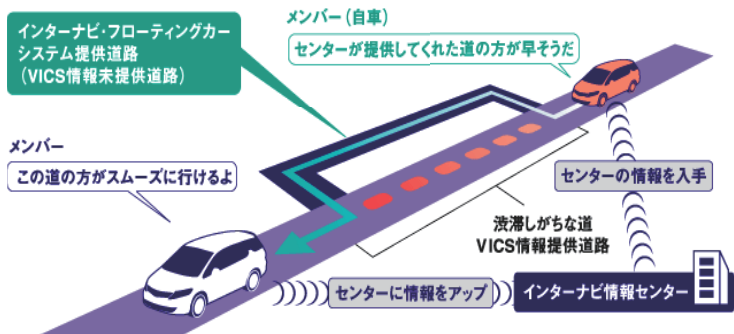
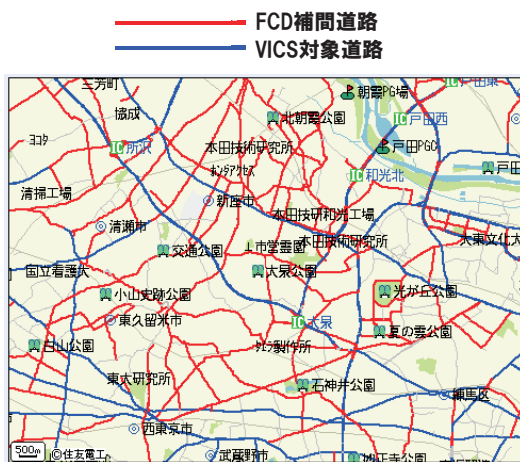
フローティングカー(プローブ)交通情報システム

会員同士で収集した交通情報をみんなで共有
渋滞を避け、目的地へより早いルートを案内

2003年10月開始

世界初

自動車メーカーとして



インターネットナビ交通情報システムの効果

すべての道路交通情報を考慮し、最も早く目的地に到着できるルート案内

通常のルート

自由が丘⇒白樺湖

インターネットナビ最速ルート(7月16日)



減災に向けた取り組み

ドライブに影響する気象・減災情報をカーナビに提供



ナビのルートを
サーバへアップ



気象情報



Internetnavi
Premium Club



ルート上に
災害発生!

全てのクルマがいつでもどこでもつながるをめざして

インターナビの全てのお客様に、
通信機標準装着+通信費無料サービス「リンクアップフリー」を提供

自動車メーカー初
リンクアップフリー

「価値ある豊かな情報を提供し、
クルマの『安全・環境・快適』性を向上させたい」

通信モジュール

2010年CR-Zより開始
現在全てのインターナビに標準装備

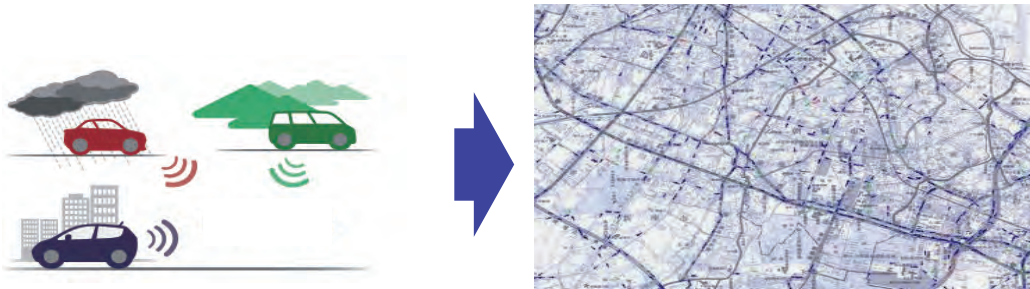
累計25万台
(2012年12月現在)

※車検時にHonda販売店で更新手続きをしていただくことが継続の条件

埼玉県との取り組み
2007年から

道路側の危険個所を抽出・対策し、事故を未然に防ぐ

フローティングカーデータから急ブレーキポイントを抽出



急ブレーキ回数約7割減少

急ブレーキ多発箇所対策前
国道254号(和光市)



植栽剪定



急ブレーキ多発箇所対策前
国道463号(新座市)



路面表示による
速度抑制の注意喚起



Honda Safety Map運用開始

みんなで作る、安全マップ



歩行者も、ドライバーも、ライダーも、
あらかじめ危険な場所を知ること
より安心して生活できる世の中へ

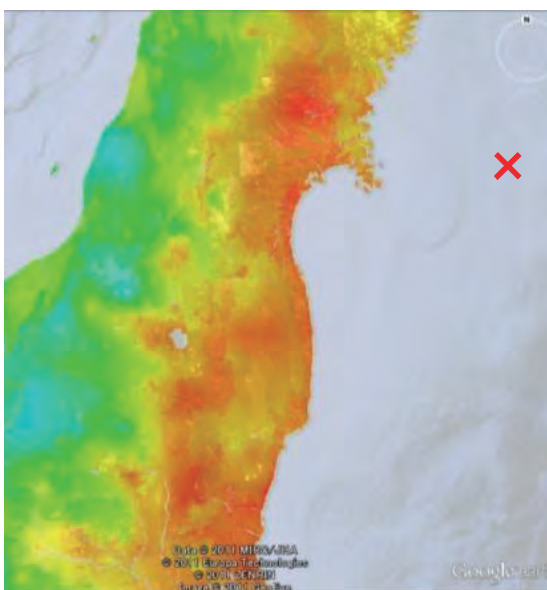
Hondaのインターナビが集めた
日本中を走るクルマの急ブレーキ情報
さらに、交通事故情報
そして、みなさんの声で地図はつくれます

<http://safetymap.jp/>

東日本大震災での取組み

2011年3月11日14時46分 東日本大震災発生

津波警報と地震震度を表示



首都圏の通行止め状況

